令和6年度 第1回T-SPOD会議 議事要録

1 日 時 令和6年11月8日(金) 15時28分～17時03分

2 場 所 徳島大学地域創生・国際交流会館 3階 共用室301

3 出席者

鳴門教育大学	幾田 伸司、寒川 正英、三木 俊介
四国大学・四国大学短期大学部	桑原 渉、堀 千尋、永松 宜洋
徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	後藤 浩代、藤本 和史
徳島工業短期大学	妹尾 瞳
阿南工業高等専門学校	中村 雄一、濱田 ゆうこ
徳島大学	吉田 博(議長)、飯尾 健、塩川 奈々美 大森 理佐、岩森 清澄、白田 智子、瀬尾 亜希子

会議開催に先立ち、議長挨拶及び出席者の自己紹介が行われた。

4 議 題

(1) FD・SD活動の取組等について 【議題1資料】

議長から、議題1資料に基づき、徳島県内加盟校の独自の活動について情報共有及び情報交換を行いたい旨の説明があり、事前に提出のあった「令和6年度のFD・SD活動の取組等」により各校が説明し、種々意見交換を行った。

【FD・SD活動の取組内容】

① 鳴門教育大学

シンポジウム、新任職員研修、評価者研修、職場のメンタルヘルス&セルフケア
SPOD 講師派遣プログラム事業

・令和5年度から導入を開始している、e-ポートフォリオシステムについては、1年生の前期に全学生向けに活用についての授業を実施している。e-ポートフォリオを用いて半年に1回程度学生と教員が面談を実施し、セルフデザイン型学修に向けての取組を実施している。

② 四国大学・四国大学短期大学部

SPOD 講師派遣事業、FD・SD 新任研修会、中間授業評価アンケート、学期末授業改善アンケート、授業公開、職階別研修、専門別研修、目的別研修(人権教育研修会等)、部門別研修

・学生による授業評価アンケートはどのように活用されているか。

学生が記述式で回答。FD 委員がすべてチェックをし、改善の必要がある場合は教員に応答を求め、回答をWEBで可視化している。

・SDでの取組(ハラスメント研修、60分のカリキュラム)について、未受講者は担当から連絡をして、職員対象のSDの受講率が100%となっている。

③ 徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部

新任・昇任教員対象の研修会、全学教員対象のFD研修会、学生による授業アンケート、研究授業、卒業予定者対象・大学生生活満足度アンケート、在学生対象・学修状況アンケート、ハラスメント防止委員・相談員合同研修会、防火防災管理委員会及び自衛消防隊等合同研修会、全学防災訓練、SPOD内講師派遣プログラム、全学SD研修会

- ・学生による授業評価アンケートについては、教員がコメントを返し、Web上に公開している。
 - ・在学生対象・学修状況アンケートについては、最終授業時に学生にアンケートを実施し、回答率は6～7割程度である。
 - ・アクティブラーニングについては、教員間の温度差があり、以前として講義中心の授業もあれば、進んだ取組もある。
- ④ 徳島工業短期大学
 学生からの授業評価アンケート、公開授業、授業評価研修会、SPOD内講師派遣プログラム
- ・授業評価アンケートは、教員の氏名を省いて公表している。回答時間が確保できないのが課題である。
- ⑤ 阿南工業高等専門学校
 新任教職員研修、シラバス到達目標達成度アンケート、学修（学習）達成度アンケート、校内役職者アンケート、特別授業参観（教員相互の授業参観）、SPOD講師派遣事業、オンライン英会話研修
- ・シラバスにループリックが記載されていてわかりやすい。
シラバスは国立高専機構で統一されている。
 - ・シラバス到達目標達成アンケート 学生が期末テストの後自己評価する。
- ⑥ 徳島大学
 教育改革に関する勉強会・意見交換、質保証のためのワークショップ、授業設計ワークショップ、授業実践の振り返り、授業参観・授業研究会、ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ、授業について考えるランチセミナー、ティーチング・ポートフォリオチャート作成ワークショップ、初めてSIH道場を担当する教員のためのFD、大学院生のための社会で役立つ教育・指導スキル育成講座（プレFDとして実施）、授業のチェック及び振り返り、第20回大学教育カンファレンス in 徳島、『大学教育研究ジャーナル 第22号』の発行、英会話研修、パソコン講習会、メンタルヘルス研修会、ハラスメント研修、SPOD講師派遣プログラム（組織の力を引き出す観察力養成講座）、タイムマネジメント研修

【SPOD事業への意見内容】

○徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部

- ・多様化した学生に対応する教授法、学習意欲を高める授業づくりの紹介とワークショップ形式での研修。
- ・職員数が減少する中、効率的な業務の進め方や働き方を行っている他大学の実践例の紹介。
- ・魅力的な大学を創り出す教職員の取組事例の紹介と研修の実施
- ・SPODフォーラムは、一度に多様な研修が受講できるため大変好評である。多くの教職員が参加できるように、今後もオンライン配信を実施してほしい。
- ・派遣プログラムはワークショップ研修などの内容が充実しているので、複数回実施できるようにしてほしい。
- ・「授業について考えるランチセミナー」のような、参加しやすい講座の開放

○徳島工業短期大学

- ・対学生、対地域、対産官学の FSDS プログラムが多いが、大学教職員自身のキャリアアップ支援方法や大学組織としての教職員の学びのサポートなど大学で働く人へフォーカスしたプログラムを希望する。
- ・自大学内での教育のみならず、他大学との連携が重要となってきたが、単位互換の際の時間割の相違等の問題、SPOD 四国地区ならではの地方における学生の移動手段の問題等についての連携や解決策について、SPOD の職務階層別でのワークショップなども希望する。

○阿南工業高等専門学校

- ・学生の状況に沿った合理的配慮の事例紹介、研修方法の紹介
- ・E-learning の利活用促進につながる事例紹介等
- ・アクティブラーニングの事例紹介（成功例、失敗例）
- ・効果的かつ効率的なFD・SD体制の構築方法等

⑤ 徳島大学

- ・オンラインで参加できるプログラムの新規開発
- ・令和6年12月26日(木)にSPOD共通事業「第20回大学教育カンファレンス in 徳島」を、徳島大学常三島キャンパスにて実施（一部オンライン配信予定）する予定である。学内で周知していただき、積極的なご参加をお願いしたい。近日中に申込フォームを開設する予定である。
- ・毎月第2、第3木曜の昼休み（12:05-12:50）に「授業について考えるランチセミナー」を、Zoomによるオンラインで開催している。学内で周知していただき、積極的なご参加をお願いしたい。
- ・SPODフォーラム2025の参加者企画枠に応募できそうな教職員の方への積極的に呼び掛けをお願いしたい。

(2) SPOD フォーラム2025について

【議題2 資料、参考資料】

議長から、SPODフォーラム2025は徳島大学が当番校であり、徳島県内の加盟校に前回実施時と同様協力いただきたい旨の説明があった。

SPOD フォーラム2025について、各加盟校で担当できそうなセッションやアイデア、参加動員に繋げるアイデアについて種々意見交換を行った。

議長から、いただいた意見を踏まえ、今後のフォーラムのプログラム実施についての協力依頼があった。

また、前回実施時と同様、スタッフとして協力いただきたい旨の説明があった。

① 担当できそうなセッションやアイデア

○鳴門教育大学

<自大学>

（特に教員養成における）学修成果可視化、ディプロマサプリメント、教職大学院遠隔教育プログラム（リカレント教育）、連携教職課程 等

<T-SPOD 合同>

（徳島県の）教員育成指標を見据えた徳島県の教員養成、産学官連携プラットフォーム（のうち特に「次代を担う人材の育成と多様な学び直しの機会の創出」関連）との接続 等

○四国大学・四国大学短期大学部
産学官連携プラットフォーム

○徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部
毎年、教職協働のプログラムに教員が講師として参加している。

○徳島工業短期大学
毎年増え続けている留学生受け入れの課題や問題点についてのセッション

○阿南高専
ポスターセッションにおいて本校のFD・SD活動や学生支援（ピアサポート、キャリア教育など）の取り組みについての発表などは可能。

○徳島大学
・SPODフォーラム2025の全体テーマを「学生が安心して学びに向き合う大学の基盤づくり」とし、テーマに関連するプログラムを修得できる「学生理解・学生支援集中修得ゾーン（仮）」を設置して、関連分野の専門家による企画チームで6つのプログラムを体系的に配置する。
・2日目のトップリダーセミナー、シンポジウムについては、オンライン配信を行い、ハイブリッド型で実施する。
・SPOD加盟校のニーズの高い内容については、FD専門部会やSPOD事務局へ講師紹介を依頼するなど、実施できるように働きかけを行う。

②SPODフォーラム2025への参加動員につなげるアイデア

○鳴門教育大学

自大学の教職員が講師・セッション担当者等、SPODフォーラム側で登壇していれば、その関連分野や近い関係の教職員が身近に参加する動機付けになる可能性も考えられる。

○徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部

本学教職員の間では「SPODフォーラム」への関心が高いため、徳島大学で開催される「SPODフォーラム2025」には、多くの教職員の参加が見込める。

本学では、年間4回実施する新任・昇任教職員研修の1回に「SPODフォーラム」を当て、参加を推奨している。

○徳島工業短期大学

- ・業務改善ワークショップ
- ・属人化している業務を組織化する見直し方法
- ・留学生、幼児や高齢者、だれにでもわかりやすく伝える「やさしい日本語」の大学での導入
- ・大学内におけるジェンダーフリーの取組案ワークショップ
- ・地域と学生をつなげるフィールドワーク実施方法
- ・災害にどう大学として対応すべきか
- ・大学教職員のキャリア形成

○阿南工業高等専門学校

D X推進の実例等紹介などの講演・研修を設定していただければ、自高専の教職員へ聴講するよう案内する。

○徳島大学

- ・オンライン配信を予定している2日目のプログラムについて、個人でPC等からアクセスできる教職員に参加を呼び掛けるとともに、可能であれば加盟校の教室でサテライト会場を設置し、動画をスクリーン等で投影し、対面で参加できるようにする。
- ・組織的に加盟校及び各学部等から数名ずつの教職員をS P O Dフォーラムに派遣する形で参加を要請する。
- ・いろいろな方法（HP や SNS など）で周知を行い、また、できるだけ早い時期から周知を始める。
- ・情報交換会において、余興として阿波踊りを予定していることから、阿波踊りの経験者や、特に有名連に所属している教職員には、参加していただくようお願いをする。

(3) その他

特になし。

6 報告事項

(1) 「第20回大学教育カンファレンス in 徳島」について

【報告1資料】

徳島大学塩川助教から、報告1資料に基づき、令和6年12月26日（木）に徳島大学において対面、一部オンライン実施で開催する、「第20回大学教育カンファレンス in 徳島」のプログラムへの積極的な参加についての協力依頼があった。

(2) 「授業について考えるランチセミナー」について

【報告2資料】

徳島大学飯尾助教から、報告2資料に基づき、徳島大学で開催している「授業について考えるランチセミナー」について報告があった。

(3) その他

特になし

以上